



### 【稲毛高校野球部 基本理念】

我々、千葉市立稲毛高校野球部は 1978 年創部、2018 年には創部 40 年を迎えた、伝統あるチームである。稲毛高校野球部が培ってきた伝統は、自ら考え、行動し新しいものを作る「創造の心」、また高校野球の試合を通じ、観ている人すべてが感動し喜び合う「感動の継承」である。創部以来、勝利のためだけに野球をするのではなく、高校野球の本来の目的である人格形成に力を注いできた。

この伝統ある野球部の歴史、文化を引き継ぎ、さらなる発展のため、生徒たちと日々、白球を追い続けている。

### 【稲毛高校野球部が目指すもの】～高校野球の目的は人格形成～

◎いい親父になろう。素敵な女性になりなさい。

私が掲げる現在の野球部のテーマは、「いい親父になろう」、マネージャーは「素敵な女性になりなさい」である。前述の通り、高校野球の目的は人間形成である。

高校野球のなかには、どんなに速いボールを投げることよりも、遠くにボールを飛ばすことよりも大切なことがある。将来、自分が家庭を持つときに、自分の子供を育てていくときに、親として何を伝えていくのか、そのために「なりたい自分とは」、「いい親父とは」、「素敵な女性とは」を生徒一人一人が考え、自問自答しながら活動している。

◎目標は甲子園。

高校野球の目的を達成たすために、我々の目標は甲子園である。

その目標を達成のためには何が今求められているのか。

それをただ指導者からやらされるのではなく、自ら考え、自ら行動し、チームの勝利のため活動している。

創部以来、野球部は千葉県大会で徐々に力を発揮し、1999 年夏には優勝候補の拓殖大紅陵高校を 4-1 で下し、ベスト 16。2000 年秋にはベスト 8、26 期生の清田主将が選手宣誓を行った 2006 年夏には、4 回戦で木更津総合高校に 4-2、準々決勝で市立船橋高校を 8-7 で下し、初のベスト 4。2012 年夏、4 回戦で東京学館船橋高校を 3-2 で下し、ベスト 16。2015 年秋、市立習志野高校を 6-5 で下し、ベスト 8。

2018 年春、2019 年春は 2 年続けて県大会出場を果たしている。

これまでの先輩たちの記録を塗り替えようではないか。待ってろよ、甲子園。

◎メディカルケアと栄養指導 ～けがをしない体づくり～

近年、怪我に苦しむ高校球児が多いというニュースを耳にする。

稲毛高校野球部では、選手の怪我防止、パフォーマンスの向上のためメディカルケアと栄養指導を行っている。

月に一度、千葉メディカルセンターの理学療法士の方に学校に来校してもらい、体のケアを行っている。検査の内容は様々で、基本的には全員の関節の可動域や筋肉の状態を一人一人チェックしてもらい、個別にアドバイスをしてもらっている。また、ストレッチや、トレーニングの方法も指導していただき、怪我防止、怪我のしにくい体づくりに取り組んでいる。

また、栄養指導の面では、袖ヶ浦にあるガウラススポーツさんの協力のもと、保護者の方、選手の両方に栄養指導講習会を実施し、怪我をしない体を作るための食事やパフォーマンスの向上のためのサポートにあたっている。

◎卒業後の進路 ～文武同一～

チームの考え方の一つに、「勉強しながら野球をやらせてもらっている」というものがある。野球がやれるのは当たり前のことではなく、保護者の方、地域の方、先生方、すべての人たちのおかげで野球をすることができている。そのため、自分の好きな野球だけに注力するのではなく、勉強も疎かにしてはならない。まさに文武同一である。

(令和三年度 稲毛高校野球部監督 倉原 輝)

直近3年間で部の卒業後の進路総計

【平成29年度卒業生】 37期生	【平成30年度卒業生】 38期生	【令和元年度卒業生】 39期生	【令和2年度卒業生】 40期生
早稲田大学	千葉大学（硬式野球部）	信州大学（2人）	慶應義塾大学（2人） （硬式野球部）
法政大学	早稲田大学	横浜市立大学	明治大学（3人）
日本大学（2人）	上智大学	早稲田大学	中央大学
東京農業大学 （準硬式野球部）	立教大学	立教大学（2人）	法政大学
	明治大学（3人） （うち2人は軟式野球部）	明治大学	文教大学
	日本大学（2人）	法政大学	
	武蔵野大学	成城大学	
	國學院大學	昭和女子大学	
	東京農業大学	日本大学（2人）	
	東洋大学	成蹊大学	
	淑徳大学		
以上5名	以上14名	以上13名	以上8名